

多田鼎 （一八七〇—一九二七） 佛敎學者。明治八年十月愛知縣生れ、昭和十一年十一月七日歿（一八七〇—一九二七）。明治二十二年東京大學卒。清澤滿之主宰、『精神界』の執筆。また自ら雑誌『文と心』を主宰し、千葉市の千葉敎院を開いて風敎改善に盡力。愛知の尊圓寺住職、東京大學院敎授と務めた。

著書に、『大聖釋尊傳』（明治四十二年四月）、『十七日活々堂出版部』、『正信海講話』（明治四十年七月十八日活々堂出版部）、『佛涅槃集』（纂釋、明治四十一年十月十日無我山房）、『廻向論』（昭和十六年五月）、『二十百京都・同朋舎「多田鼎集」第一卷』等。

